

第1学年 図画工作科学習指導案

題材 「ころころ ペたぺた いったいなにかかくれてる？」(楽しい造形活動)

指導観

- 本学級の児童は、今までに「すきなものいっぱい」「たのしかった運動会」「○○のシャワー」の題材で、パスを使い思い浮かぶすきなものを絵に表したり、運動会やシャワーの様子を絵に表したりしてきた。また、「ざいりょうとなかよし」の学習では、布や綿などの集めた材料をさわったり、手にしたりして、材料の感触を感じ取り、友達と一緒に思い付いた活動を楽しんですることができた。図画工作の学習が好きな児童が多いが、「何を描いたらいいかわからない」「どうやって描いたらいいのかわからない」だから「絵に表す表現が嫌い」という児童が31人中12人いた。また、「自分や友達の作品をみることに興味がなく嫌い」という児童が11人と多かった。本学級の児童は図画工作科の時間は一生懸命に取り組み、最後まで意欲的に活動する姿が見られるが、「絵に表す題材」では表現の喜びや、作品を見ることの楽しさを十分に味わうまでに至っていない。
- 本題材は、材料・用具をもとにして、版遊びを楽しみながら、手や体全体の感覚を働かせて、自分の表しかたを思いつき、試しながら思いのままに想像を広げることをねらいとしている。また、自分が使ってみたい材料や色を選ぶことや体全体の感覚を働かせながら自分の表していることを話したり、友達の話を開いたりしながら材料や表現活動を見ることに興味をもたせることもねらいとしている。

そこで本題材は児童が取り組む上で次のような価値があると考え。

- (1) ローラーでの活動を通して自分の思いをふくらませながら絵に表すことの楽しさを味わうことができる。
 - (2) ローラーでの活動を通して、自分の使いたい材料・用具を選び表したいことや表し方を思いつくことができる。
 - (3) パス、絵の具、ローラーなどの材料や用具を自由に選び、体全体の感覚を働かせながら絵に表していくことの楽しさを味わうことができる。
 - (4) 友達や自分の表現をさんぼしながら、交流し合うことで、表現活動を楽しむ楽しさを味わうことができ表現を見ることに興味をもつことができる。
- 本題材の指導と評価にあたっては、まず、この題材で育てたい力(指導事項)を明確にし、この題材における評価規準をつくっていく。それをもとに子ども達の実態と照らし合わせて段階ごとの評価基準を設定していく。そして、評価の重点化を図り子ども達の活動のよさや表現への思いを見取り、その思いが満たされるような新たな活動提案や材料提供をして、基礎基本の力を育てながら、子ども達の表現活動を広げたり、高めたりしていきたい。

そのために、まずはじめにローラーを使い、体全体を使って表現しながら表すことの楽しさを味わわせたい。そのために体全体の感覚を使った表現ができるように

場づくりや紙の大きさなどを工夫したい。また、自分の好きな色や材料・用具を選びいろいろな表現を楽しみながら、自分の表し方を見つけることができるように、スタンピングの材料・用具を準備し、児童の思いに合うような材料を準備し提供していきたい。

次に、できあがった表現を散歩しながら、「何が隠れているか、何に見えるか」など自分が表したいことをみつけ、手などを働かせながら思いをふくらませ絵に表していくことの楽しさを感じ取らせたい。自分が表したいことを見つけられるように、自分や友達の表現の周りを歩いたり、友達と歩きながら話したりして表すことができるように場づくりや共感を中心とした支援をしていきたい。また、パスや絵の具など自分の気に入った描画材を使い自分の表し方(指、筆など)で表現していけるように材料を提供していきたい。

最後に、できあがった表現をみんなで散歩しながら、自分の表現や友達の表現の好きなおとところや面白いところを話すことで表現活動を見る楽しさを味わわせ、表現活動を見ることに興味をもたせたい。

目標

- 材料・用具、好きな色に関心を持ち、全身的な造形活動を楽しみながら自分の表したいことを思いついたり考えたりし、自分や友達の表現活動を見ることに興味をもつことができるようにする。

題材の評価規準・評価基準

| | 造形への関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 | 創造的な技能 |
|---------|--|---|---|
| 評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表したいことを表すために好きな色や材料を選び、思いのまま表すことを楽しむ。 ○ 好きな色や形、自分たちの表現を見ることに関心をもつ。(鑑) | <ul style="list-style-type: none"> ○ ローラーやいろいろな材料と出会うことで、自分の表したいことを見つける。 ○ ローラーなどの表現の後、新たに思いついたことをふくらませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表したいことに合わせて材料や用具を選んだり試したりする。 ○ 自分が選んだ材料などを体全体の感覚を使い表現する。 |
| 評価基準(B) | <ul style="list-style-type: none"> ○ ローラーや好きな色に関心をもって、選んだり転がしたりしている。 ○ 散歩しながら自分や友達の表現活動について話している。(鑑) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 思いついた方法で表しながら新しく表したいことを思っている。 ○ 散歩しながら、見立て遊びをし、見立てた物をパスや絵の具でかき加えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 好きなローラーやスタンピングの材料を選び、体全体の感覚を使いながらかいている。 |

指導と評価の計画(4時間)

| 時間 | 子どもの活動 | 評価基準 (B) | | | 指導 (活動提案・材料提供など) |
|--------|---|---|--|---|--|
| | | 関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 | 創造的な技能 | |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな形のローラーや好きな色の絵の具を選び広い模造紙の上を転がしながら、写し出された線の面白さを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ローラーと絵の具を選んで模造紙の上を転がしてみる。 ・ 散歩をしながら活動をふりかえり、次時への見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ローラーや好きな色に関心をもって、選んだり転がしたりしている。 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 好きなローラーやスタンプングの材料を選び、体全体の感覚を使いながら描いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しい表現活動(ローラーを使って表現する)への見通しがもてるようにするために、広い紙やローラーとの出会いを大切に活動提案をする。活動提案 ○ ローラーに関心をもたせるために、たくさんの種類のローラーがあることを紹介し、どんな感じになるか想像させながら教師が演示で見せる。 ○ 自分の好きなローラーや色を選ぶことができるようにするために、材料や用具を置く場や試しの場を工夫する。 ○ 体全体の感覚を使いながら表現できるようにするために、ロール紙と場所を準備し、児童の思いにそうように時期を考慮しながら材料を提供していく。材料提供 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ローラーでかいた表現に、集めた材料や提供された材料・用具を使って表現していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ローラーを使う。 ・ 野菜を使う。 ・ 自分でつくったものを使う。 ○ できあがった表現の周りを散歩しながら活動をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の表現の面白いところやいいなと思うところを発見する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 思いついた方法で表しながら新しく表したいことを思いついている。 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しい表現活動への見通しをもたせるために、まずはじめに前時までの表現の周りを散歩し、ローラー以外の版のおもしろさを発見させ興味をもたせ活動を提案する。 ○ 自分の好きなスタンプングの材料を選ぶことができるようにするために、材料を置く場や試しの場を工夫する。 ○ いろいろな表現を楽しみながら、自分の表し方ができるように、児童の思いにそのような材料を提供していく。 ○ 活動の過程での児童のつぶやきや表情やしぐさなど体全体から発せられる情報をみとり、個に応じた活動を提案したり、材料を提供していく。(評価) |
| 3 5 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 散歩をしながら見つけたもの(見立てたもの)をパスや絵の具を使って描いていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 草花、虫、生き物などをパスで描いたり、絵の具(筆、指)を使い描いていく。 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 散歩しながら、見立て遊びをし、見立てた物をパスや絵の具でかき加えている。 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ローラーなどで表した世界に何が隠れているか。何に見えるか」草花や虫など新たに表したいことを思いつくようにするために、自分たちの模造紙の周りを散歩することを提案し、児童のつぶやきを広めながら、草花や虫など発見したもの、見えてきたものを表現していくことを提案する。 ○ 体全体の感覚を働かせた表現ができるようにするために、指や筆に絵の具をつけて草花や虫などを表現していくことを提案する。 |
| 0 5 | <ul style="list-style-type: none"> ○ みんなで、できあがった表現を終えた模造紙の周りを歩きながら友達にみてほしいところなど伝え合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 散歩しながら自分や友達の表現活動について話している。 (鑑) | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や友達の表現活動に関心をもってみるができるようにするために、模造紙の周りを散歩しながら表現の好きなところ等を話していくことを提案する。 ○ 児童のつぶやきや表情から情報をみとり、表現活動を見る楽しさを味わわせるために共感を中心とした言葉かけをしていく。 |

第1学年1組 本時図画工作科学習指導案(1/4時間)

場所 体育館

本時の目標

- 提供された材料・用具や好きな色に関心をもって、選んだり版押し的活動をするようにする。(造形への関心・意欲・態度)
- 好きな材料・用具を選び、体全体の感覚を使いながら描いていくようにする。(創造的な技能)

本時の展開

| 学 習 活 動 と 内 容 | 評 価 基 準 (B) ・ 評 価 方 法 | 指 導 (活動提案・材料提供など) |
|--|--|--|
| <p>1 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて ころころ ころころ ローラーをころがしてみると・・・いろは？せんは？どうなるのかな？やってみよう！ </div> <p>2 好きな形のローラーや好きな色の絵の具を選び広い模造紙の上を転がしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ローラーの種類と使い方をしる。 ○ ローラーと絵の具を選んで模造紙の上を転がしてみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・好きなローラーや絵の具の色を選ぶ。 ・ころころ転がしながら、転がし方を試す。 ・友達と一緒に活動する。 <p>3 みんなで模造紙の周りを散歩して、活動をふりかえるとともに次の活動へ見通しをもつ。</p> | <p>(造)</p> <p>ローラーや好きな色に関心をもって、選んだり転がしたりしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 材料や用具を選んでいる様子や転がしているときのつぶやきなどからみとる。 </div> <p>(創)</p> <p>好きなローラーやスタンプの材料を選び、体全体の感覚を使いながら描いている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しい表現活動(ローラーを使って表現する)への見通しがもてるようにするために、広い紙やローラーとの出会いを大切にした活動提案をする。活動提案 <ul style="list-style-type: none"> ・4種類のローラーを準備し隠しておく。 ・広い紙は最初巻いておく。 ・絵の具の色は、赤・青・黄色・黄緑・緑・ ○ ローラーに関心をもたせるために、4種類のローラーを紹介し、どんな感じになるか想像させながら教師が演示で見せる。 ○ 自分の好きなローラーや色を選ぶことができるようにするために、材料や用具を置く場や試しの場を工夫する。 ○ 体全体の感覚を使いながら表現できるようにするために、大きめの紙と場所を準備する。 <ul style="list-style-type: none"> ・巻いておいた広い紙を一気に広げ、この広い大きな紙に表現していくことを知らせる。 ○ 活動が停滞しがちな児童には、材料コーナーで一緒にローラーや絵の具を試しながら自分のすきなものを見つけられるようにしていく。 ○ 児童の思いにそうように時期を考慮しながら材料を提供していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・次時への意欲につなぐために必要最小限にしておく。 ・ローラーにつけられるもの(ひも、毛糸、プチプチマット) ○ 次に使いたいものを準備したりや新しい表現への意欲を持たせたりするために自分や友達の表現の周りを散歩するようにする。 ○ 次の活動への意欲を持たせるために児童のつぶやきを拾いあげたり、共感的な言葉かけをしていく。 |